



平成 23 年 12 月 20 日

各 位

会 社 名 J Xホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 高萩 光紀  
コード番号 5 0 2 0 東・大・名証第 1 部  
問合せ先 財務 I R部 I Rグループ マネージャー  
山本 真義  
(電話番号 03-6275-5009)

### 子会社における石油製品海上輸送会社 2 社の合併契約締結について

当社子会社である J X日鉱日石エネルギー株式会社（社長：木村 康、以下「J X日鉱日石エネルギー」）の石油製品海上輸送を担う、昭和油槽船株式会社（社長：筒井 健司、J X日鉱日石エネルギー 7.9%出資）と日本タンカー株式会社（社長：田中 裕司、J X日鉱日石エネルギー 87.5%出資）の 2 社は、本日、平成 24 年 4 月 1 日（予定）を効力発生日とする合併契約を締結しましたので、お知らせいたします。

なお、これに伴う連結業績への影響は軽微です。

以 上

添付資料：昭和油槽船株式会社と日本タンカー株式会社の合併契約締結について

2011年12月20日  
JX日鉱日石エネルギー株式会社

各 位

昭和油槽船株式会社と日本タンカー株式会社の合併契約締結について

当社(社長:木村 康)の石油製品海上輸送を担う、昭和油槽船株式会社(当社 7.9%出資、以下「昭和油槽船」と日本タンカー株式会社(当社 87.5%出資、以下「日本タンカー」)の2社は、2011年8月4日付で会社統合に関する基本合意書を締結し、合併に関する協議を進めてまいりました。

本日、両社は、2012年4月1日(予定)を効力発生日とする合併契約を締結しましたので、お知らせいたします。

両社は、ともに石油製品、LP ガスなどのエネルギー海上輸送事業を柱とする内航海運会社であり、昭和油槽船は油脂・化学品などを含めた幅広い輸送事業を展開しており、一方、日本タンカーは船舶代理店・通関事業に強みを持っております。

合併新会社は、両社の経営資源を統合し、経営基盤を強固なものとするとともに、より質の高い安全輸送の確立を図ることで、内航タンカー業界における、国内トップクラスの競争力、収益力を有する会社を目指してまいります。

記

1. 合併期日 2012年4月1日(予定)

2. 合併の方法

(1) 合併方式

昭和油槽船を存続会社とする吸収合併

(2) 本合併に係る割当ての内容

	昭和油槽船 (存続会社)	日本タンカー (消滅会社)
合併比率	1	3.7

(注)日本タンカーの株式1株に対して、昭和油槽船の株式3.7株を割当て交付します。

3. 合併後の会社概要

(1) 商 号 昭和日本タン株式会社(英文名 Showa Nittan Corp.)

(2) 所 在 地 東京都千代田区丸の内三丁目

(3) 代 表 者 代表取締役会長 田中 裕司(現 日本タンカー 代表取締役社長)  
代表取締役社長 筒井 健司(現 昭和油槽船 代表取締役社長)

(4) 資 本 金 491,805,900円

(5) 主 要 株 主 JX 日鉱日石エネルギー株式会社、平沢運輸株式会社、株式会社日新

(6) 事 業 内 容 海運業、船舶代理店業、通関業及びこれに付帯する関連事業

(7) 支 配 船 隻 数 109隻\*

(8) 従 業 員 数 140名\*

\*2011年9月末時点での両社の合算値

【昭和油槽船・日本タンカーの概要】

	存続会社	消滅会社
名 称	昭和油槽船株式会社	日本タンカー株式会社
本 社 所 在 地	港区西新橋一丁目1番3号	港区西新橋一丁目18番17号
代 表 者	代表取締役社長 筒井 健司	代表取締役社長 田中 裕司
設 立 年 月 日	1945年7月1日	1967年3月14日
資 本 金 (2011年3月末)	491百万円	300百万円
主 要 株 主	平沢運輸(株) (15.7%) (株)日新 (12.7%) 東京海上日動火災保険(株)(8.0%) JX日鉱日石エネルギー(株)(7.9%)	JX日鉱日石エネルギー(株)(87.5%) 日正汽船(株) (12.5%)
売 上 高 (2011年3月期)	14,618百万円	14,375百万円
事 業 内 容	海運業及びこれに付帯する関連事業	海運業、船舶代理店業、通関業
支 配 船 隻 数 (2011年9月末)	56隻	53隻
従 業 員 数 (2011年9月末)	29名	111名 (うち海員55名)

以上